

製品名: C3G ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07747**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	RAPGEF1
別名	RAPGEF1; GRF2; Rap guanine nucleotide exchange factor 1; CRK SH3-binding GNRP; Guanine nucleotide-releasing factor 2; Protein C3G
遺伝子 ID	2889.0
SwissProt ID	Q13905
免疫原	抗血清はヒト RAPGEF1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 470-519

背景

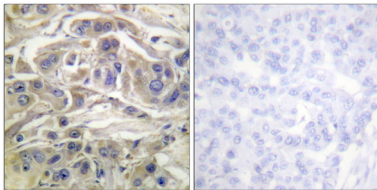
この遺伝子はヒトグアニンヌクレオチド交換因子をコードしています。CRK の SH3 ドメインに結合し、Ras ファミリー GTPase の複

数のメンバーを活性化することにより、CRKからのシグナルを伝達します。このシグナル伝達カスケードは、アポトーシス、インテグリンを介したシグナル伝達、および細胞形質転換に関与している可能性があります。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがいくつか報告されていますが、一部のバリエーションの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: CRKのSH3ドメインおよびGRB2/ASHに結合するグアニンヌクレオチド放出タンパク質。CRKからのシグナルを伝達し、RASを活性化する。類似性: N末端Ras-GEFドメインを1つ含む。類似性: Ras-GEFドメインを1つ含む。サブユニット: CRKのSH3結合部位を介してCRKと相互作用する。組織特異性: 成体および胎児において普遍的に発現する。成体では骨格筋と胎盤、胎児では脳と心臓で高い発現を示す。成体および胎児では肝臓での発現レベルが低い。、

研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

画像データ



RapGEF1抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。